

市議会だより



●脇本第一小学校6年生による校外学習（議場見学）

令和2年7月豪雨により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

被災地の日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

記 事 内 容

4月臨時・5月臨時・6月定例会から	……	P 2
議案質疑	……………	P 3
一般質問	……………	P 4～P 8
新型コロナ対策に関する要望書提出	……	P 8
予算特別委員会	……………	P 9
常任委員会の動き	……………	P 10
常任委員会等の構成	……………	P 11
請願・陳情・意見書・編集後記	……………	P 12

◆6月定例会審議日程◆

6月12日	本会議（議案上程）
16日	本会議（一般質問）
17日	本会議（一般質問）
18日	本会議（一般質問）
19日	本会議（議案質疑）
23日	予算特別委員会
24日	常任委員会・分科会
24日	常任委員会・分科会
30日	議会運営委員会
	本会議（表決）

4月臨時会 5月臨時会 6月定例会

新型コロナ 支援策について議論が集中！ 経済対策費を盛り込んだ一般会計補正予算を可決

4月臨時会では4月10日に招集され、新型コロナウイルスの影響を受けている地元事業者への支援として緊急宿泊支援事業補助金などを盛り込んだ令和2年度一般会計補正予算案など4議案を可決・承認しました。5月臨時会では5月8日に招集され、男鹿駅周辺整備事業に係る財産取得費など4議案を可決しました。任期満了に伴う常任委員会等の改選を行いました。6月定例会は6月12日に招集され、30日までの19日間の会期で開かれました。今定例会では新型コロナウイルス経済対策として実施するプレミアム付き商品券事業費などを措置した令和2年度一般会計予算案など24議案が市長から提案された。審議の結果、すべて可決・承認しました。また、最終的に提案された農業委員会委員任命案19件、議案案3件を同意・可決し閉会しました。

●新型コロナウイルス感染症対策について

緊急事態宣言が5月25日に解除されたことにより、本市では新型コロナウイルス感染症対策特別措置法に基づき、4月8日に設置した対策本部を廃止しましたが、感染症のリスクが回避されていないことや経済対策等についてこれまでと同様に対応するため、引き続き任意設置である「男鹿市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置しています。市民の皆様には感染拡大を予防する「新しい生活様式」の定着を図るため、市広報、ホームページ、防災行政無線、チラシの配布等により周知しているところです。

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の概要について



4月・5月臨時会 新型コロナウィルス感染症対策補正予算について

質疑 補正予算の具体的内容と対策の概要について伺う。

答 感染予防対策ではマスク、体温計、アルコール消毒液などの購入費で156万9千円を措置した。

経営安定資金危機関連補助金子補給金は、感染拡大の影響で多くの市内事業者が資金繰りに苦慮していることから、本市では秋田県経営安定資金の危機関連補助制度に協同し、利息分(金利年1・15%)を借り入れ後2年間利息補給するものである。

緊急宿泊支援事業補助金については、宿泊施設において約1万8千人のキャンセルがあり大きな打撃を受けていることから、本市の基幹産業である観光業、特にその中核をなす宿泊事業者を支援する

この交付金は4月20日に閣議決定されたもので、地域経済や住民生活を支援するため総額1兆円の経済対策を行うものであり、本市への交付限度額は1億5千244万9千円となっています。

可決した一般会計補正予算(第1号から第5号)の中から主な交付金の活用事業を紹介いたします。

緊急宿泊支援事業

市の基幹産業である観光産業を支援するため、また、市民の皆様には男鹿の良さを再認識していただくとともに、観光事業者を応援していただくため、男鹿市民を対象として宿泊費を助成するものです。支援内容は市民2千名に対して、一人5千円を上限に市内宿泊施設への宿泊費を助成するものです。

また、本事業は助成対象を県民に拡大実施しましたが、皆様からの応援により6月9日を過ぎて予定数に達したため、宿泊予約の受付を終了しています。

プレミアム付商品券補助事業(地域支援あい商品券)

疲弊する市内飲食店・小売店舗等に対する経済対策として、広く市内で使用できるプレミアム付商品券を発行し、市内での消費拡大を図ることで、地域経済の活性化を図るものです。事業内容は1セツト額面1万2千円分を1万円で購入(プレミアム率20%)するもので、発行総数は2万セツトです。

緊急支援金支給事業

国による持続化給付金、県による拡大防止協力金等の実施が進められる中、本市における経済対策として、特に影響の大きい宿泊、飲食、食品製造業に対する支援を行うもので、支援内容は1事業者に対し20万円を定額給付するものです。

上下道料金の免除

緊急支援金支給事業の交付決定を受けた事業者に対し、上下道料金を8月検針分から3カ月間免除するものです。

可決した主な議案

4月臨時会

〔条例〕 国民健康保険税条例の一部改正

他1件

〔補正予算〕 一般会計予算(第1号)

緊急観光誘客促進事業費などを措置したもので、歳入歳出それぞれ2千700万円を追加するものです。

5月臨時会

〔条例〕 手数料条例の一部改正

他1件

〔補正予算〕 一般会計予算(第2号)

緊急支援金支給事業費などを措置したもので、歳入歳出それぞれ27億6千230万円を追加するものです。

6月定例会

〔条例〕 市税条例の一部改正

他13件

〔補正予算〕 一般会計予算(第3号)専決

新型コロナウイルスの影響を

の感染防止対策を徹底していく。

6月定例会

〔農業委員の任命について〕 質疑 農業委員に何を期待しているか。

答 今回、農業委員を任命する中で重視したのは、女性や若手農業者を積極的に登用すること、認定農業者や農業歴の長い人など幅の広い見識を求めたことである。農業委員には農地の荒廃が進む中で、若手農業者や農地の集積を求め、また逆に耕作できない方、また逆になどなどの相談を幅広い見識で解決していただきたい考えである。

質疑 定数19名は適正か。

答 委員定数については、今回も応募者多数の中から地区別と考え、年齢、認定農業者などを加味任命した。19人の人数が多いのは、任期中の活動の様子等を鑑みながら考えていきたい。

質疑 農業委員会から当局に対する提言はあるか。

答 市政に対する要望・意見等はないものの、農業委員会総会、活動の中で事務局に提案されているものと承知している。

〔その他〕 農業委員会委員の任命

吉田 陽一(脇本)

清水 司(船越)

戸部 秀悦(船越)

三浦 富美男(脇本)

鈴木 和俊(五里合)

加藤 和洋(野石)

伊藤 淑榮(船越)

三浦 栄子(船越)

武田 一雄(男鹿中)

佐藤 正樹(角間崎)

目黒千衣子(男鹿中)

鈴木 誠孝(船越)

中田 正一(福米沢)

鈴木 孫城(福米沢)

鈴木 豊則(船越)

伊藤世智男(五里合)

山本 義則(北浦)

佐藤 洋介(野石)

高橋 郁雄(船越)

他5件

〔議員提出議案〕
意見書3件



米谷 勝 議員

新型コロナウイルス感染症の現状と対策について

質 市内事業者への影響とその対策状況について伺う。

答 市の観光入込数は、3月から5月までの3か月間で18万2千31人、前年比70・7%の減、観光産業、宿泊・飲食業に関わる事業者の減収率が前年比65%を超えている。こうしたことから、緊急宿泊支援やプレミアムバスポートの発行による観光事業者への支援、飲食店や個人漁業者などへの緊急支援金の支給、秋田県経営安定資金危機関連枠の借入者に対する利子補給、オガレや市内直売所等を通じて農水産物や加工品を販売しようとする事業者に対する販売手数料の補助を実施する。また、これらに加え、市内飲食店や小売店舗などへの経済的支援を行うため、プレミアム付商品券の準備を進めている。さらに、県の秋田県プレミアム宿泊券、飲食券等の各種支援事業ならびに国のGOTOキャンペーン事業などとの連携を

図ることで市内観光関連事業者や農林水産業への支援および市内経済の回復に努める。

質 国の第2次補正予算（教育関係）に係る新たな支援について伺う。

答 文科省が公表している第2次補正予算については、公立の小・中学校1校につき、100万円から300万円の感染症対策についての配分をするもので、学校における感染症対策と子供たちの学習保障の取組への支援についてのメニューが提示されている。市の財政状況を考慮し、児童・生徒にとって有効な活用を検討する。

イージス・アショアについて

質 防衛省や県から、本市の秋田国家石油備蓄基地を配備候補地とする調査、照会などを受けているのか。

答 現時点で配備候補地とする調査、照会などは受けていない。秋田国家石油備蓄基地が候補地に決まったとしたら、市では承諾する考えはあるのか。

答 同基地は国有地ではあるが、原油等を備蓄していることから、候補地にはなり得ないものと考えているが、昨日、防衛大臣が配備計画の停止を表明したことから、今後の動向を注視する。



古仲 清尚 議員

訪問看護事業について

質 地域包括ケアシステムの進展では訪問看護の充実が不可欠であることから、当該事業の安定的な体制構築が必要であり、医療情報の適宜・適切な取扱い、医療従事者等の人材確保、多様な働き方や労働環境の整備充実が求められる。また、地域共生社会の実現に向かう為、地域福祉計画や介護保険事業計画等、関連計画の共有化、地域における共通基盤の明確化や組織間連携における尚一層の効率化・適正化が重要と考えるが、見解を伺う。

答 みなと市民病院の事業として訪問看護サービスを提供していく準備を進めている。医療情報については、個人情報保護と重要性を十分認識し、適正な取扱いに努め、医療従事者等の労働環境については、人材確保を含め、経営改善計画を進める中で整備充実に取り組んでいく。高齢化が著しい本市においては、地域共生社会の実現は重要であることから、地

域包括支援センターと連携し、地域住民と行政等との協働による包括的支援体制構築にも努めていく。

質 児童・生徒の学校安全に関わる環境整備について

質 男鹿市スクールバス運行管理規程では、輸送に係る利用範囲が学校統廃合における校区割に関わる事由による一択となっており、あくまでも、統廃合時の状況に従い運用されている。現行の運用については、本市の地域社会における児童・生徒の現状や実情に沿った形で改善が求められることから、通学実態の把握や、児童・生徒の安全を考慮し、スクールバス運行管理規程の見直しを図り、適正化するべきと考える。併せて、現行、輸送非対象地区における児童・生徒の乗車および気温の高い夏季、降雪期の冬季節における輸送対象の拡大など、柔軟化について検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答 スクールバス運行における適正化および運行管理規定の柔軟化については、今後、実情を把握し、検討していく。

【その他の質問】
●学校および通学路の安全確保に
対する対応方について
●防災・減災における各計画の進捗や達成状況 検証について



安田健次郎 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

質 コロナ対策については国・県をはじめ全国の自治体でさまざまな対策を講じているが、本市としても子供支援として離職されている家庭や生保、就学援助受給世帯、また、大学生等への支援、さらには小・中学生の授業の遅れへの対応など強力な支援が必要ではないか。

答 児童手当の受給資格のある世帯に対し、児童一人に1万円を支給する子育て世帯への臨時特別給付金を支給している。今後は児童扶養手当受給世帯等を対象に、低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金を支給する。また、大学生等への支援は、国や県の学生支援緊急給付金など活用していただきたいと考えており市独自の給付は予定していない。授業の遅れについては学習指導要領に定める標準時間より多く計画されており、遅れは解消される見通しである。

質 農林漁業やフリーランスなどを始め小規模な職種などにもきめ細かな対策が必要ではないか。

答 宿泊業や飲食業、製造業などを対象とした市独自の緊急支援を実施しているが、対象を個人漁業者へ拡大する補正予算を今定例会に提案している。

質 障害者施設や介護、福祉施設などへの対策は充分か。

答 市内の各施設には感染者の発生はなく、現時点では市の助成等は考えていない。

国民健康保険税について

質 国保は協会けんぽと比較すれば同じ所得でも倍の保険料になっている。そのため納めたくても納めきれないという現実がある。昨年度の国保会計は黒字の見込みであり、積立金も大きいことから、税率の引下げを実施すべきではないか。

答 昨年度の国保特別会計の決算の見込みであるが、今年度の財政運営見込みでは、歳出面で県に納付する事業費納付金や国保連合会の算定誤りによる同への返還金などが増加したことにより、約8千500万円の歳入不足が生じ、基金等からの財源補てんによる対応が必要と見込まれていることから、今年度の税率改正は考えていない。



佐藤 次郎 議員

【新型コロナウイルス感染症対策】自粛への経済支援を

質 政府は4月25日、特別措置法に基づき休業要請を发出しました。感染拡大に伴う外出や営業活動の自粛が日本経済に及ぼした傷の深さが浮き彫りになってきました。2月後半から飲食店、ホテル、旅館等のキャンセルが相次ぎ、人件費、光熱水費、家賃の支払いが大変となり、補償してほしい、これ以上自粛したらやっつけけない等々の切実な声が寄せられました。市内経済は悪化し、街には人通りがなく、夜の街も閑散としています。以下4点について市の見解を伺う。

答 ①市内経済の実態調査すること
②商工業、観光、宿泊業等への国・県・市の支援策について
③学校休業による対応と子供のいる世帯への支援策について
④漁業への支援策について
市内の経済状況や各種支援策の情報共有を図るため、商工会、金融機関、ハローワークとの

連絡協議会を定期的に開催し、状況把握に努めている。市では宿泊支援や飲食店への緊急支援金の支給、資金借入者への利子補給を実施、また、プレミアム付商品券を7月に発行できるよう準備している。国・県の支援事業と連携し市内経済の回復に努めていく。学校休業による昨年度分の未履修については今年度当初に学習済みであり、子供のいる世帯への支援として全児童・生徒を対象とした給食費支援と必要保護児童生徒家庭に対し、休業中の昼食代を支援し負担軽減を図ることとしている。また、漁業への支援として、個人漁業者を対象とした緊急支援事業やオガレ等への販売手数料の支援事業を行う。

イージスアショア配備計画 反対を明言すべき

質 本市は国定公園に指定されている景勝地である。イージス・アショアという危険極まりない施設の配備は市民は望んでいません。秋田国家石油備蓄基地が候補地となっているが、市長は配備反対を明言し、防衛省に反対の態度を示すべきと考えるが見解を伺う。

答 防衛大臣が配備計画の停止を表明したことから、今後の動向を注視していく。



船木 正博 議員

コロナ禍による臨時休業の影響とその対応は

質 履修時間は確保されているのか。

答 各校における年度当初の年間指導時間は学習指導要領に定められている標準時間より多く計画されており、本日現在、指導時間数は確保される見通しです。

質 夏休みに補充授業は考えているのか。

答 今後の感染症や自然災害による休業に備えることを目的として、夏季休業開始を例年の7月23日から8月1日に変更し、5日間の授業日を確保することとした。

質 コロナ収束後に向けた各学校、教師、生徒への今後の指導方針、および教育委員会としての在り方をどう考えているのか。

答 コロナ禍のあった中、本市においては、比較的落ち着いた学校生活を送ることができている。今後において、危機感を緩めることなく、「学校における新しい生活様式」を取り入れながら、新

型コロナウイルス感染防止に取り組んでいく必要がある。学校現場においては、感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していきたいと考えている。

近未来に向けた市長の市政運営について

質 市長はコロナ禍後の近未来に向けた市政運営をどう担っていくのか、その行動指針を伺う。

答 現在のこの状況を乗り切るため、発想の転換をし、この難局をチャンスと捉え、オール男鹿で市民の皆さんと一緒に頑張っていく覚悟である。

市長の今後の動向について

質 現時点での市長選挙に対する菅原市長の心積もりを伺う。

答 私の行動指針は、「今を全力で」という考えであり、来春の市長選挙への対応については、まだ考えていないのである。

【その他の質問】

●コロナ禍によるSNSの利用方法について

●コロナ禍による市民への影響と対策について

●コロナ収束後の男鹿市総合計画について



佐藤 誠 議員

新型コロナウイルス対策について

質 猛暑予想の今年はマスク着用

のうえ、夏休みも短縮され、より過酷な環境となり熱中症などが特に心配されます。教室等へのエアコン設置は県立高校や秋田市でも決定され、男鹿、南秋の小・中学校で未設置なのは本市だけである。早急に設置できないか、また、夏用マスクを提供できないか、夏場のエアコンの必要性は高いと考えています。今後、多目的教室、図書室、職員室など学校ごとに検討する。夏用マスクも国の第二次補正予算で検討する。

質 市内のイベントや集会の開催の基準はどう提示するか。

答 市主催のイベントは「県主催のイベント等の開催基準」に準じ、十分な感染対策を条件に段階的緩和を進め、8月以降は主催者の適切な判断をお願いする。

質 観光、飲食以外の業種に対する救済策とコロナの一括相談窓口の必要性はないか。

答 観光、飲食以外の業種に対する救済策とコロナの一括相談窓口の必要性はないか。

ゴミの分別について

質 市民が分別に迷うのは何か、また、分別のその考え方を知らせる必要はないか。

答 アルミ箔、飲料用ボトルの蓋、雑紙等について問合せがある。異物や有害物質混入がリサイクルの妨げになるのでゴミの出し方、利便の配布や、分別アプリなどで周知する。

男鹿駅周辺の利用と避難について

質 船川の港湾関係者や釣り客用

に避難タワーが必要など重要な位置であるならば、「秋田大ふれあい処」の位置を移動させ、港湾から町なかにまっすぐ避難路を通すべきと思うが所見を伺う。

答 「秋田大ふれあい処」は誘客のために民間事業者の土地を借り、県の補助金を活用して設置したもので、移設は現状では困難である。市では町なかの避難計画はあるが港湾と町なかを結ぶ避難計画はなかったものである。



佐々木克広 議員

【教育・福祉】児童・生徒の学習進捗遅れ等対策について

質 テレワークを含むICT活用、空調整備（エアコン含む）等、教育学習の時間効率向上策について伺う。

答 ICT活用については、GIGAスクール構想のもと、本市でも児童・生徒一人一台タブレット端末の整備を予定している。

質 エアコンを含む空調整備については、今後、設置について検討する。

質 経済的困窮児童・生徒への食費や教材費、資格受験費、文化スポーツ助成費等、経済支援策について伺う。

答 準要保護世帯への補助として、保護者の申請に基づき、給食費や教材費等の援助を行っている。資格受験費、文化スポーツ助成費等は、市教育委員会においては、助成等行っていない。

質 新型コロナウイルス再来に備えた自習用講義映像コンテンツ作成等について伺う。

質 タブレット内にオフラインでも活用できる学習コンテンツを盛り込むほか、学校ホームページを活用しての課題提示や文科省で推奨している「子供の学び応援サイト」等を紹介し、自宅での学習をサポートする予定で。

【その他の質問】

●雇用促進 市としての新エネルギー構想取組について

●新エネルギー構想に必要な市内人材の育成について

●再生可能エネルギー源をもとにしたエネルギー政策基本方針の施策体系政策Ⅰ～Ⅲの中で、第2期秋田県新エネルギー産業戦略との男鹿市としての関わり方について

●「地震津波防災」津波防壁・防災センター等整備（消防防域化推進に伴う防災センター等兼用整備等）について

●「財政再建」公共施設の広域利用（指定管理施設のこれからの活用内容と行政サイドの協力体制等）について

●「観光振興」男鹿市への観光客を呼び込む戦略策定等環境整備（地域再生計画および男鹿駅周辺整備計画との関連性等）について



鈴木 元章 議員

マイバッグ（買い物用）の無料配布について

質 レジ袋の有料化が義務付けられ、同時期に本市では家庭系ごみの有料化がスタートする。少しでも家計の出費を抑えるため、市内在住の全世帯を対象に男鹿市独自のマイバッグを作成し、無料配布する考えはないか。

答 レジ袋などのプラスチック製品の使用抑制およびレジ袋を家庭へ持ち込まないことは、市の喫緊の課題であるごみの減量化にも資するものである。マイバッグの無料配布については、ごみの減量化施策の中で検討し、まずは、ごみの分別や減量アドバイザー養成講習会、広報などがマイバッグ利用促進を図っていく。

廃校舎の有効活用について

質 文化施設や歴史資料館として活用できないか。

答 文化施設や歴史資料館として活用できないか。

【その他の質問】

●成年後見制度の利用について

●成年後見制度の利用について



進藤 優子 議員

予算の執行について

質 予算執行を着実に進めていくべき公会計が、今年度は未知のウィルスによって不透明が増えています。困窮に陥る人を少なくするため、事業の見直しを進め予算を組み替えて思い切った財政出動をすべきと考えるが。

答 11月額の確定状況や関連事業の実施状況を見極め、予算の

行っている。財政調整基金や地方創生臨時交付金などを活用し、感染拡大防止、市内経済対策などの関連予算を措置し、積極的な対策に努めてきた。今後は、国の第2次補正予算により、財源を効果的に活用し、刻々と変化する状況に柔軟かつ機動的に対応していく。

災害対策について

【質】 新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、災害発生に備えた避難体制の構築、特に避難場所・避難所の感染症対策は急務です。地域防災計画および避難

予算特別
委員会

算特別委員会付託された一般会計、国民健康保険特別会計および男鹿みなと市民病院事業会計の令和2年度補正予算について審査し、いずれも原案のとおり、可決すべきものと決しました。

委員会質疑のあった中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

委員会で質疑のあった中から主な
取り上げ、その要旨を掲載しました。

家庭系ごみ有料化について

質疑 7月1日から有料化がスタートし、今後、市としてどのような事業に取り組んでいくのか。

【答】減量化推進事業では、**ごみの出し**を便利帳へ、**ごみ分別**もボスターを全戸配布する。また、9月からは**ごみ分別アブリ**を導入する予定としている。環境美化推進事業では、不法投棄監視員の監視活動の回数[※]を拡充したほか、不法投棄監視カメラを5台設置する予定としており、監視活動の強化を図るものである。適正排出促進事業では、分別が不十分で集積所に取り残される要因が、目で確認できる不適正ごみ啓発シールの作成、集積所への分別収集表示板を設置する予定としている。

有料化制度にあわせこれら

市単独運行バス事業
について

質疑 本事業の具体内容および契約方法について伺う。

事業を実施し、ごみの分別と減量化を推進するものである

画に掲げる基本方針に基づき市民の日常の移動手段としての公共交通をより便利に、また、持続可能なものとするため路線の再編を行うとともに新たに船川循環線および脇本船越循環線を設けるものである。

本事業はこれまで、プロポーザル方式により事業者を選定し、単年度の委託契約を締結していたが、長期契約に結ぶことにより、事業者の運行機材や運転手等の人材確保について計画が立てやすく、安定的な業務の遂行が期待できることから、本年10月から合

市庁舎改修工事について

質疑 実施目的および改修内容について伺う。

染症拡大防止対策においては、健康子育て課が主たる役割を担っていることから、今後の対策について緊密で迅速な対応がとれるよう、現在、健康子育て課が配置されている保健センターから本庁舎に配置換えするものである。

これにより、健康子育て課は本庁舎2階の現在の教育委員会の位置へ、農業委員会は3階へ、また、農業委員会事務局が農林水産課の隣へ配置されるものである。また、これらに要する経費は仕切り壁の改修工事や電話交換機の増設、システム等の移設など、1千237万5千円である。

菅原市長に「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を提出

市議会ではコロナ禍の状況を受け、会派代表者会議において、今年度の政務活動費の辞退、行政視察の中止を決めました。

また、市民生活や市内経済が疲弊していくことへの不安の声や切実な要望が市民から寄せられていることから、市議会では5月8日に、菅原市長に要望書を提出しました。



男鹿市長 菅原 広二 様

男鹿市議会議長 吉田 清孝

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書(要旨)

要望事項

1. 市議会では、この未曾有の事態において、市議会もできる限り尽力する所存であり、今年度の政務活動費および行政視察費については、その執行を辞退するため、対策に要する経費の財源に充当すること。
2. 市民の生命と健康を守り、安心して暮らせるよう、県および関係機関との連携、協力のもと、市へ迅速かつ正確な情報提供を図ること。
3. 市内の観光業、飲食店、個人事業主、中小企業等のほか経済的困窮者に対し、国県の支援制度の拡充を含む市独自の支援策を検討、実施すること。
4. 新型コロナウイルス感染症対策を実行するための必要な予算措置を講ずること。

おかげで地域振興公社について

質疑 決算の状況およびコロナ禍による影響は。

答 令和元年度決算状況では、なまはげ館においてはゴーランドウェイークの10連休が好天であったことや、「男鹿のナマハゲ」ユネスコ無形文化遺産登録の影響もあり、これまで以上の入館があり黒字を計上した。しかし、温浴ランドおよび夕陽温泉WAOの2施設においては、入館者の数減少や施設の老朽化による修繕費および光熱水費などが増加しており、厳しい運営状況が続いている。

また、コロナ禍によりなまはげ館を休館していた影響が大きく、今後は、剰余金を取り崩す状況も見込まれると伺っている。

答 市民のためにコストダウンをして、もっといいサービスを提供していこうという経営感覚が足りていなかった。お風呂にはいっていただきたい、食事に来ていただきたい男鹿観光一体となった取組が行っていく。

議案第42号 財産の取得について

表 決 状 況 (令和2年5月臨時会)														(○:賛成 ×:反対 欠:欠席 議:議長)					
	政 和 会						市民クラブ			明政会		日本党	谷登	議決結果					
	三浦利通	笹川圭光	船橋金弘欠	伊藤宗就	中田謙三	佐々木克広	小松穂積	米谷勝	船木正博	畠山富勝	鈴木元章	吉田清孝	佐藤誠		古仲清尚	中田敏彦	佐藤巳次郎	安田健次郎	進藤優子
議 案 第 42 号	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	×	○	可 決

※吉田清孝議長は採決に加わりません。※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他の案件については、全会一致で可決されました。

【所管事項】
総務企画部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項。



船木正博委員



進藤優子委員



佐藤 誠副委員長



吉田清孝委員



佐々木克広委員

総務委員長
中田 謙三

総務委員会

(定数6人)



小松穂積委員



佐藤巳次郎委員



古仲清尚副委員長



米谷 勝委員



笹川圭光委員

教育厚生委員長
鈴木 元章

教育厚生委員会

(定数6人)



畠山富勝委員



安田健次郎委員



中田敏彦副委員長



船橋金弘委員



三浦利通委員

産業建設委員長
伊藤 宗就

産業建設委員会

(定数6人)

【所管事項】
観光文化スポーツ部、産業建設部、農業委員会、企業局の所管に属する事項。

常任委員会等の構成

5月臨時会で新たな委員会構成が決まりました。選任された委員は次のとおりです。

議会広報特別委員



後列左から、伊藤委員、進藤委員、中田(敏)委員、鈴木委員
前列左から、佐々木副委員長、安田委員長、吉田議長

副委員長 佐藤 誠
委員 佐々木克広
委員 小松 穂積
委員 鈴木 元章
委員 佐藤巳次郎
委員 三浦 利通

委員長 進藤 優子
副委員長 船橋 金弘

予算特別委員会

(議員全員)

委員長 安田健次郎
副委員長 佐々木克広
委員 伊藤 宗就
委員 鈴木 元章
委員 中田 敏彦
委員 進藤 優子

議会運営委員会

(定数7人)

議会運営委員長
船木 正博

議会広報特別委員会

(定数6人)

【質疑】 空家等に対する市の関わり方は。
【答】 空家等の管理について

【質疑】 相談窓口体制について
【答】 今年度からワンストップ窓口を、総務課危機管理室に設置し、関係部署等と連携し相談内容に応じて適切な対応を図ることとしている。空家・空地バンクに係る事務についても企画政策課から、総務課危機管理室に移管している。

【質疑】 空家等に係る合同相談会を年3回開催することとしており、司法書士会男鹿支部や宅地建物取引業協会などからも参加していただき、来場者の相談に助言することとしている。

また、空家に係る合同相談会を年3回開催することとしており、司法書士会男鹿支部や宅地建物取引業協会などからも参加していただき、来場者の相談に助言することとしている。

教育厚生

GIGAスクール構想について

【質疑】 小中学校学習用端末整備事業の概要について伺う。

【答】 新型コロナウイルス感染症による学校休業時における家庭での学習環境整備として、速やかな整備を目指しており、年内での端末整備を予定している。端末整備により災害時等の学校休業対応の才

産業建設

大潟村への水道水供給について

【質疑】 本事業の実施目的、今後の展望について伺う。
【答】 地域包括ケアシステムの構築ならびに病院収益の向上を目的に、秋田県看護協会から専門的助言を受け、令和2年度下期開設を目指し、準備を進めている。現在、経営改善計画に基づき取り組んでいる地域包括ケア病床の増床と連動し、今後、退院後の支援としての利用も期待される。高齢化の進展に伴い、在宅でのサポートの重要性も鑑み、公立病院の使命として担うべき部分と考えている。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案等と所管の予算案を審査しました。
質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

【質疑】 空家等対策について伺う。

【答】 今年度からワンストップ窓口を、総務課危機管理室に設置し、関係部署等と連携し相談内容に応じて適切な対応を図ることとしている。空家・空地バンクに係る事務についても企画政策課から、総務課危機管理室に移管している。

は、除却も含め、所有者が行うのが原則であるが、地域の生活環境のほか、観光地の印象として、外部から訪れる方にも与える影響が大きいため、地域の課題として、有識者と連携の参加のもと、地域住民の参加のもと、適切な管理や利活用を推進し、安全・安心・快適に暮らせるまちづくりを基本方針としている。

空家等の情報収集や相談体制を充実させること、適正管理の推進、利活用の促進等を基本施策として、取り組んでいる。

【訪問看護事業について】
【質疑】 本事業の実施目的、今後の展望について伺う。
【答】 地域包括ケアシステムの構築ならびに病院収益の向上を目的に、秋田県看護協会から専門的助言を受け、令和2年度下期開設を目指し、準備を進めている。現在、経営改善計画に基づき取り組んでいる地域包括ケア病床の増床と連動し、今後、退院後の支援としての利用も期待される。高齢化の進展に伴い、在宅でのサポートの重要性も鑑み、公立病院の使命として担うべき部分と考えている。

永年勤続表彰

第96回全国市議会議長会定期総会において、次の3名の議員が永年勤続者として表彰されました。

佐藤巳次郎議員
(議員45年以上)笹川圭光議員
(議員25年以上)米谷 勝議員
(議員10年以上)

請願

●秋田県主要農作物種子条例の制定を求める請願

《主な内容》2018年4月に種子法が廃止されて以降、秋田県では「主要農作物の種子生産に係る要領」によって種子行政が行われているが、要領だけでは予算の裏付けとならないことを踏まえ、農業生産県として今後も県行政が種子生産の中心的な役割を果たし、これまでどおりの行政対応を継続することに必要な予算および関係部署の人員体制を恒久的に措置する観点から、秋田県知事に対し主要農作物の種子生産に係る県条例の制定を求めるもの。

採択

●市議会として、秋田市新屋へのイージス・アショア配備反対の意思表明を求める請願

《主な内容》イージス・アショアの秋田市新屋への配備撤回を求める陳情、請願または意見書は、県内25市町村中、すでに23市町村で採択し、県民的世論となっており、ミサイル基地イージス・アショアを秋田市新屋に配備しないよう、議会として配備反対の意思表明を求めるもの。

採択

陳情

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情

●地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

●日米地位協定の抜本的な見直しを求める陳情

意見書

●地方財政の充実・強化を求める意見書

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

●秋田県主要農作物種子条例の制定に関する意見書

令和2年9月定例会日程(予定)

月	日	曜日	会議名	主な内容
9	1	火	本会議	決算特別委員長報告(公営企業会計)質疑、討論、表決 市長提出議案上程(提案理由の説明)
	3	木		一般質問
	4	金		一般質問
	7	月		一般質問
	8	火	予算特別委員会	議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託 決算特別委員会設置・付託
	9	水		付託議案の審査・分科会設置
	10	木		決算特別委員会(一般・各特別会計)
	11	金	常任委員会・分科会	付託議案の審査・質疑・討論・表決
	14	月		付託議案等の審査・現地調査(総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
	15	火		付託議案等の審査・現地調査(総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
9	23	水	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
			議会運営委員会	最終日の運営について
			本会議	各委員長報告(総務・教育厚生・産業建設・予算特別・決算特別)質疑、討論、表決

男鹿温泉郷協同組合の皆さんが市議会を訪問

6月30日、男鹿温泉郷協同組合の皆さんが、緊急宿泊支援事業のお礼に市議会を訪問されました。4月臨時会で予算を可決した本事業は宿泊事業者への支援としては県内において早い対応であり、また、他市町村からは男鹿をモデルとして実施されていると話され、今後も十分なコロナ対策を行いつつながら、おもてなしに努めていくと述べられていました。



編集後記

6月定例会はコロナ議会でした。コロナ関連事業や予算は全て可決しました。なかでも市内宿泊施設への緊急宿泊支援事業は、他市に先駆け市当局のスピード感を持つての対応に感心しました。新しい生活様式のもとで、疲弊した社会経済をいかにピンチからチャンスにかえるか知恵の出どころです。

コロナの次に厄介なのがクマ騒動です。防災行政無線で頻繁に注意喚起しているものの、農家の人たちは安心して農作業ができません。また、観光地男鹿にとって良いイメージとはいえません。人身被害がおよばない前に早めに解決したいものです。(中田敏彦)

おが市議会だよりを無料アプリ「マチイロ」で配信しています。



マチイロ